

平成 28 年 5 月 25 日

施設見学会報告

28 年度第 1 回施設見学会として日光川排水機場、日光川新水閘門の見学を行いました。場所は海部郡飛島村で、名古屋駅から三重交通のバスで約 1 時間と遠方にもかかわらず、46 名が参加しました。

日光川は尾張西部を流れる延長 41 km の河川で、伊勢湾に注いでいる二級河川です。この流域には約 83 万人が暮らしてありますが、南半分は海拔ゼロメートル以下地帯で河川への排水はすべてポンプで行っており、約 160 箇所のポンプが設置されています。

日光川排水機場は過去の集中豪雨での被害を教訓にして、日光川河口部に位置し昭和 53 年に供用開始されました。

又、日光川水閘門は伊勢湾の潮位を常に監視し、日光川の水位より伊勢湾の水位が高い場合には水門を閉める設備として、昭和 37 年に完成しました。老朽化に伴い現在、新水閘門を建設中で、今回はまもなく完成する施設を見学しました。

河川の水環境の浄化活動をしている我々としては、河川の管理という別の面から勉強する事が出来、有意義な見学会でした。参加の皆様、お疲れ様でした。



日光川排水機場



係員から設備の説明を受ける



完成まじかの日光川新水閘門



新水閘門の説明を受ける